

# 新光グローバル・ハイイールド債券ファンド トルコリラコース

追加型投信／海外／債券

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、トルコリラを買い予約する為替取引を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2020年3月26日～2020年9月25日

第81期	決算日：2020年4月27日	
第82期	決算日：2020年5月25日	
第83期	決算日：2020年6月25日	
第84期	決算日：2020年7月27日	
第85期	決算日：2020年8月25日	
第86期	償還日：2020年9月25日	
償還日 (2020年9月25日)	償還価額	2,447.78円
	純資産総額	172百万円
第81期～ 第86期	騰落率	6.4%
	分配金合計	400円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

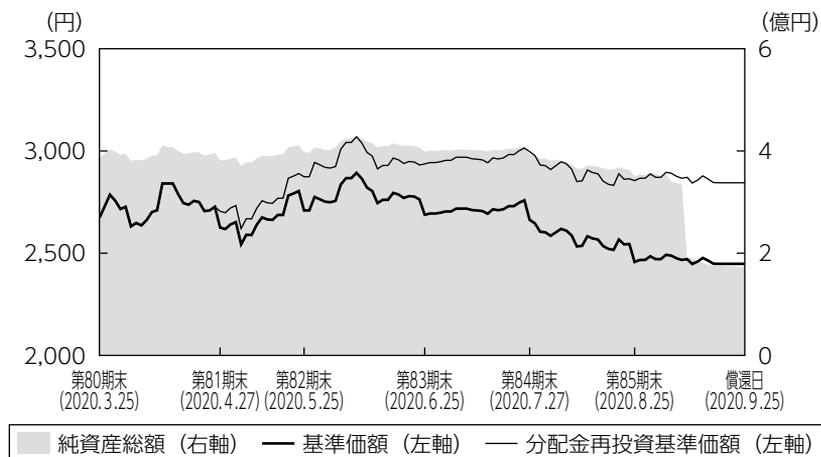
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第81期首： 2,673円  
 償還日： 2,447.78円  
 (既払分配金400円)  
 騰落率： 6.4%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

円建てのケイマン諸島籍外国投資信託である「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドーTRYクラス」（以下、ハイイールド・ボンド・ファンドといいます。）を通じて、主として海外のハイイールド債券に実質的に投資を行いました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資を行いました。円高トルコリラ安となったものの、ハイイールド債券市場が上昇したことから基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

また、設定来については、ハイイールド債券市場が上昇したものの、円高トルコリラ安となったことから、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第81期～第86期		項目の概要
	(2020年3月26日 ～2020年9月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	16円	0.595%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は2,655円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	( 5)	(0.193)	
(販売会社)	(10)	(0.388)	
(受託会社)	( 0)	(0.015)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	16	0.595	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

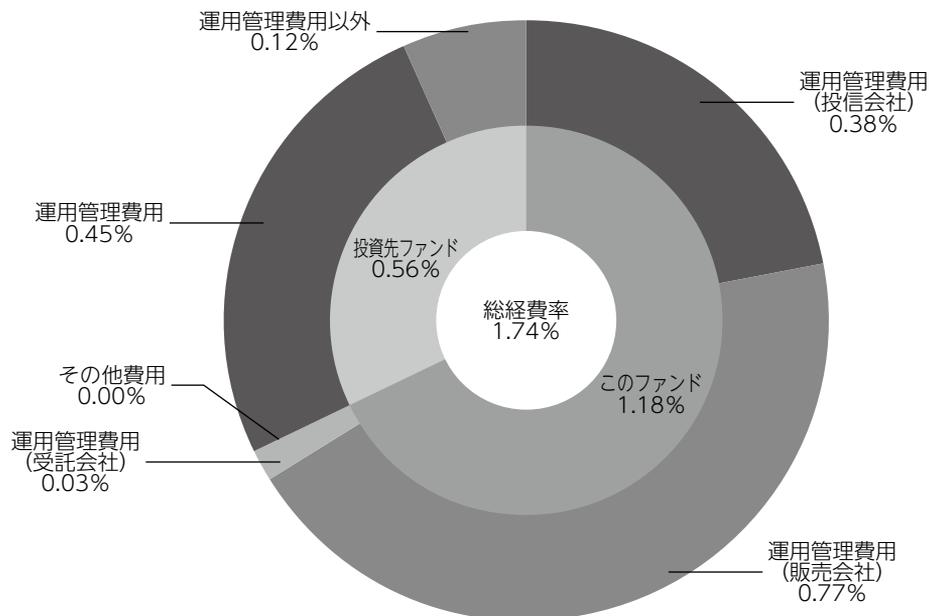
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.74%です。



総経費率 (①+②+③)	1.74%
①このファンドの費用の比率	1.18%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.45%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

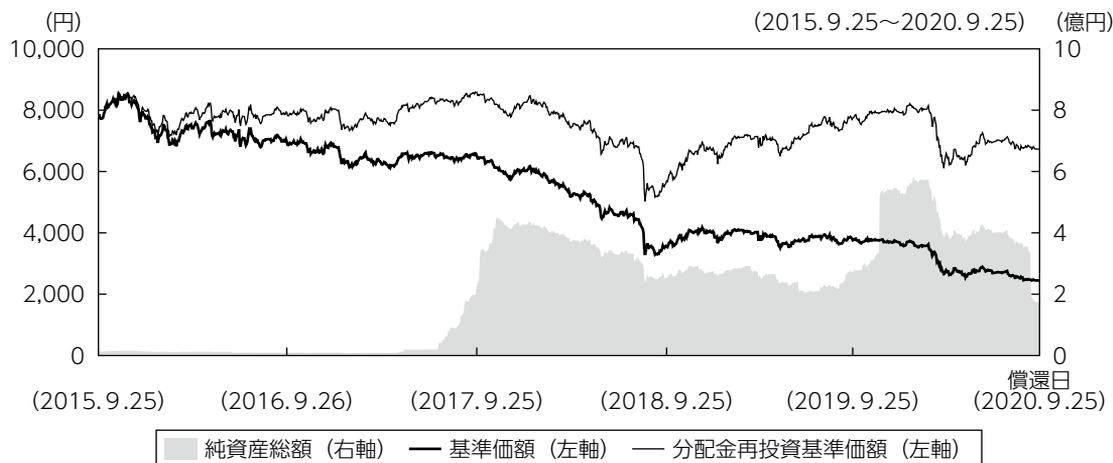
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2015年9月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年9月25日 期首	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日	2018年9月25日 決算日	2019年9月25日 決算日	2020年9月25日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	7,726	6,964	6,507	3,550	3,756	(償還価額) 2,447.78
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	960	960	960	960	880
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	2.7	8.2	△33.6	35.8	△13.0
純資産総額 (百万円)	13	9	223	252	270	172

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

## 設定来の投資環境

新型コロナウイルスの感染拡大の環境下、各国の大規模な財政金融政策により市場マインドが改善、経済指標も予想を上回る改善傾向を示したことから、ハイイールド債券市場は上昇しました。その後も、米連邦準備制度理事会（F R B）が長期に金融緩和策維持するとの期待感や新型コロナウイルスのワクチン開発の進展などを受けて、安定的に推移し、当作成期初と比較して上昇しました。

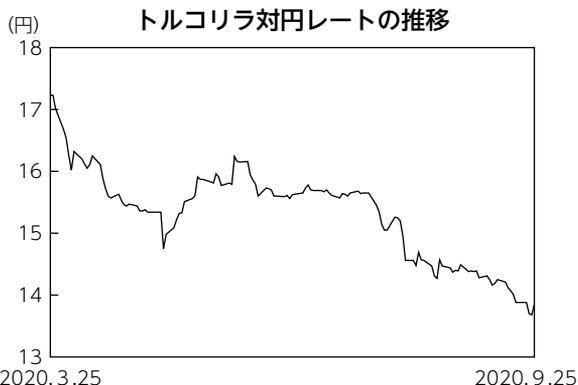
また、設定来については、原油価格下落による米国エネルギー関連銘柄のデフォルト率上昇、F R Bの金融緩和縮小と利上げ実施、米中貿易摩擦など、相場の調整局面はありましたが、ハイイールド債券市場は概ね堅調に推移しました。2020年2月後半からは新型コロナウイルスの感染拡大により、市場は乱高下しましたが、F R Bを始めとした先進国の大規模な金融緩和策により、市場のリスク回避が改善し、上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは日銀の金融緩和政策の影響からマイナス圏で推移しました。日銀が黒田総裁の第2期就任以降も「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を続けており、国債利回りには低下圧力がかかっていることが要因となりました。

また、設定来については、3ヵ月国庫短期証券利回りはプラス利回りで始まりましたが、日銀が物価目標を早期に実現するために量的・質的金融緩和政策を導入し、その後もマイナス金利政策の導入など金融緩和政策を継続したことからマイナス圏まで低下しました。

新型コロナウイルスの感染拡大や国内の金融緩和策、大手格付け会社による国債の格下げなどにより、対円でトルコリラは下落しました。当作成期前半は、新型コロナウイルスの感染拡大や世界各国のロックダウンなどを受けて、金融市場はボラティリティの高い相場となりました。その後、新型コロナウイルスの感染拡大が継続し、景気低迷が長期化するとの懸念やトルコ中央銀行の利下げ、大手格付け会社の国債の格下げなどが下落要因となり、当作成期初と比較して下落しました。

また、設定来については、エルドアン政権下による国内政治の混乱、トルコ中央銀行の大幅な利下げ、シリアへの軍事関与などによる地政学リスクの上昇などもあり、大幅に下落しました。更に2020年2月後半からは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大もあり、下げ幅を拡大しました。



## 設定来のポートフォリオについて

### ●当ファンド

引き続き、ハイイールド・bond・ファンドを高位に組み入れました。また、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを継続しました。償還に際しては適宜資産の売却を実施しました。

### ●WAグローバル・ハイ・イールド・bond（マルチ・カレンシー）ファンドーTRYクラス

償還に際して、適宜資産の売却を実施しました。



※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

### ●国内短期公社債マザーファンド

償還に際して、適宜資産の売却を実施しました。

## 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたしました。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第81期	第82期	第83期	第84期	第85期
	2020年3月26日 ～2020年4月27日	2020年4月28日 ～2020年5月25日	2020年5月26日 ～2020年6月25日	2020年6月26日 ～2020年7月27日	2020年7月28日 ～2020年8月25日
当期分配金（税引前）	80円	80円	80円	80円	80円
対基準価額比率	2.96%	2.87%	2.89%	2.92%	3.15%
当期の収益	80円	80円	80円	80円	80円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	2,256円	2,276円	2,297円	2,317円	2,341円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

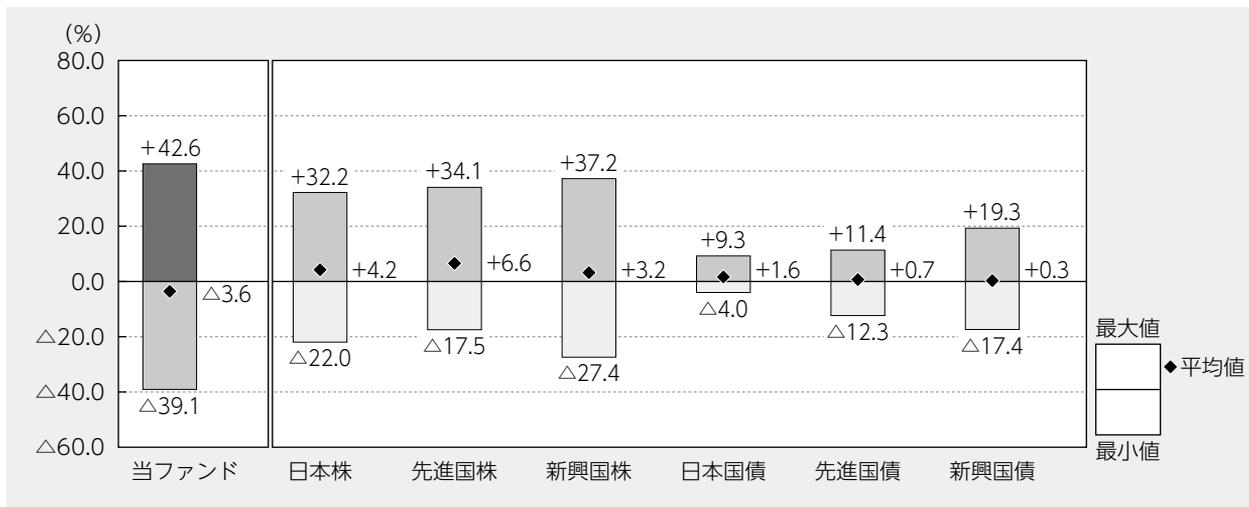
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

受益者の皆さまの長期にわたるご愛顧に心から感謝を申し上げますとともに、引き続き変わらぬお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2013年6月21日から2020年9月25日までです。	
運用方針	投資信託証券を主要投資対象として、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	新光グローバル・ハイ・イールド債券ファンドトルコリコース	投資信託証券。
	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドTRYクラス	主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行います。
	国内短期公社債マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運用方法	WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドTRYクラスへの投資を通じて、主として海外の高利回り社債に実質的な投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。投資対象とする外国投資信託では、原則として投資対象資産の発行通貨を売り予約し、トルコリラを買い予約する為替取引を行います。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。前記にかかわらず、前記にかかる分配金額のほか、分配対象額の範囲内で基準価額水準や市況動向等を勘案して委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年9月～2020年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

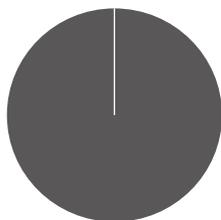
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2020年9月25日現在）

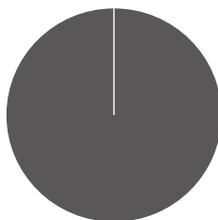
当ファンドに組入れておりました有価証券は作成中に全て売却し、また親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

#### ◆資産別配分



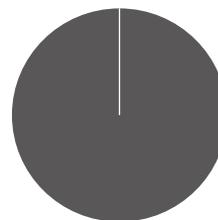
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

項目	第81期末	第82期末	第83期末	第84期末	第85期末	償還時
	2020年4月27日	2020年5月25日	2020年6月25日	2020年7月27日	2020年8月25日	2020年9月25日
純資産総額	381,675,110円	397,047,740円	398,672,074円	392,569,905円	350,752,453円	172,316,347円
受益権総口数	1,454,156,074口	1,465,397,389口	1,483,115,126口	1,473,950,606口	1,427,654,606口	703,968,885口
1万口当たり基準（償還）価額	2,625円	2,709円	2,688円	2,663円	2,457円	2,447.78円

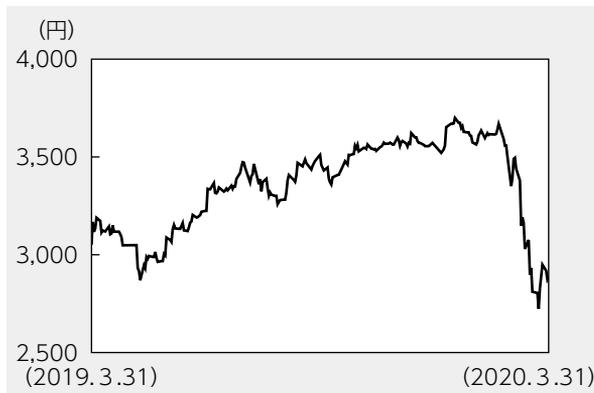
(注) 第81期～償還時における追加設定元本額は140,336,848円、同解約元本額は881,842,823円です。

## 組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-TRYクラス】（計算期間 2019年4月1日～2020年3月31日）

### ◆基準価額の推移



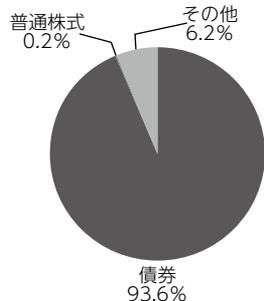
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
TEVA PHARMACEUTICALS NE	アメリカ・ドル	4.2%
CHARTER COMM OPT LLC/CAP	アメリカ・ドル	3.2
PETSMART INC	アメリカ・ドル	2.8
CSC HOLDINGS LLC	アメリカ・ドル	1.8
VIRGIN MEDIA SECURED FIN	アメリカ・ドル	1.4
BNP PARIBAS	アメリカ・ドル	1.3
BARCLAYS BANK PLC	アメリカ・ドル	1.3
PRIME SECSRVC BRW/FINANC	アメリカ・ドル	1.3
TARGA RESOURCES PARTNERS	アメリカ・ドル	1.2
TENET HEALTHCARE CORP	アメリカ・ドル	1.2
組入銘柄数	167銘柄	

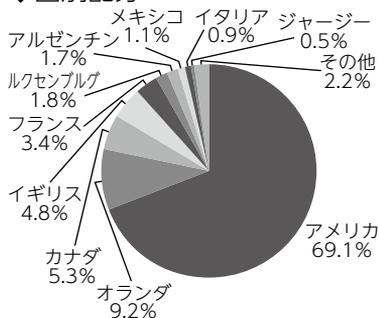
### ◆1万口当たりの費用明細

費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

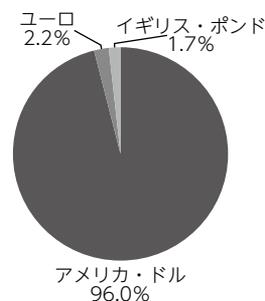
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



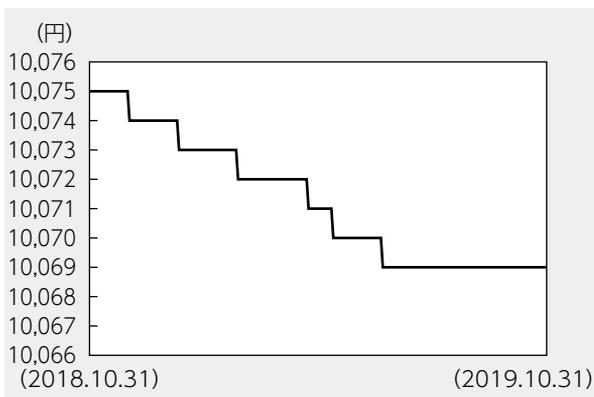
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移はWAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-TRYクラスの計算期間のもので、また、当期における分配金を再投資したもとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。
- (注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの決算日現在の状況を表示しております。
- (注3) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-TRYクラス」は、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」の個別クラスとなっております。
- (注4) 組入上位10銘柄、国別配分、通貨別配分の比率は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの組入公社債に対する評価額の割合です。
- (注5) 資産別配分は、WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注6) 国別配分については、多国籍および上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示してあります。
- (注8) 「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド」は、米ドル以外の通貨建債券へ投資した場合、原則として債券の発行通貨売り/米ドル買いの為替取引を行います。その上で、「WAグローバル・ハイ・イールド・ボンド（マルチ・カレンシー）ファンド-TRYクラス」において、原則として、米ドル売り、トルコリラ買いの為替取引を行います。
- (注9) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類および、ウエスタン・アセット・マネジメン・カンパニー・エルエルシーのデータをもとにアセットマネジメントOneが作成したものです。費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内短期公社債マザーファンド】（計算期間 2018年11月1日～2019年10月31日）

◆基準価額の推移



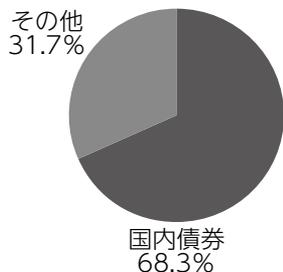
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
20年度9回 奈良県債	日本・円	54.6%
336回 大阪府公募公債	日本・円	13.7
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
組入銘柄数	2銘柄	

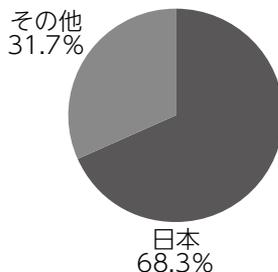
◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

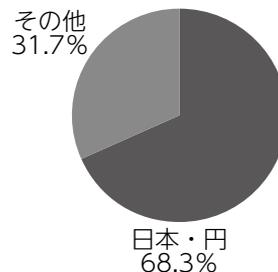
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

